

第4回 飯村校区まちづくり勉強会

日時 令和7年11月27日（木）19：00～20：30

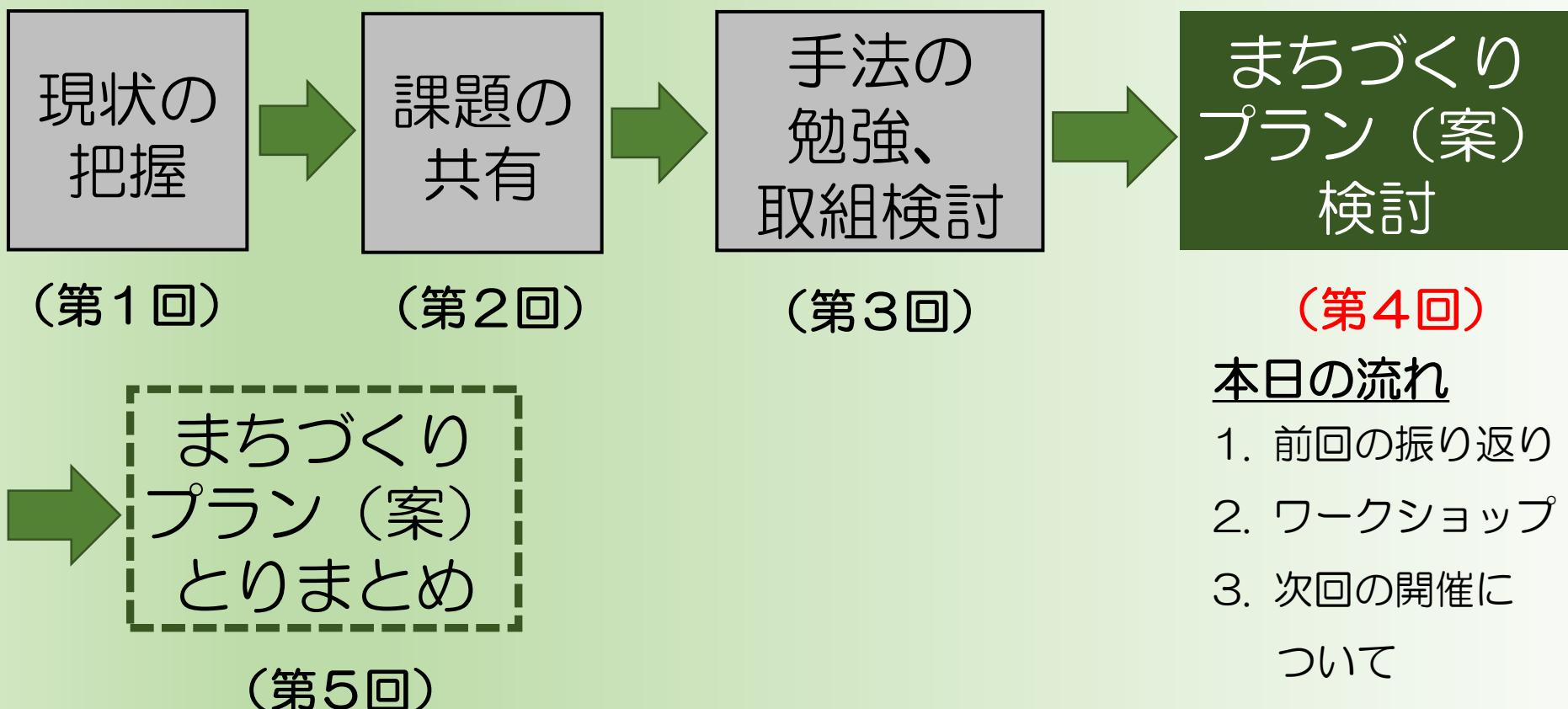
場所 豊橋市飯村校区市民館 集会室



はじめに

まちづくり勉強会について

よりよい地区の実現に向けたまちづくりを住民の方とともに
検討していく会



前回の振り返り

第3回まちづくり勉強会

開催概要

開催日時	令和7年6月25日（水）、午後7時00分～8時30分	
会 場	飯村校区市民館（集会室）	
開催方法	意見交換、3班に分かれてのワークショップ	
出席者	地元	16名
	事務局	豊橋市6名、ランドブレイン株式会社4名 計10名

【次第】

1. 前回の振り返り
2. ワークショップ
(手法の勉強と意見交換)
3. 次回の開催について

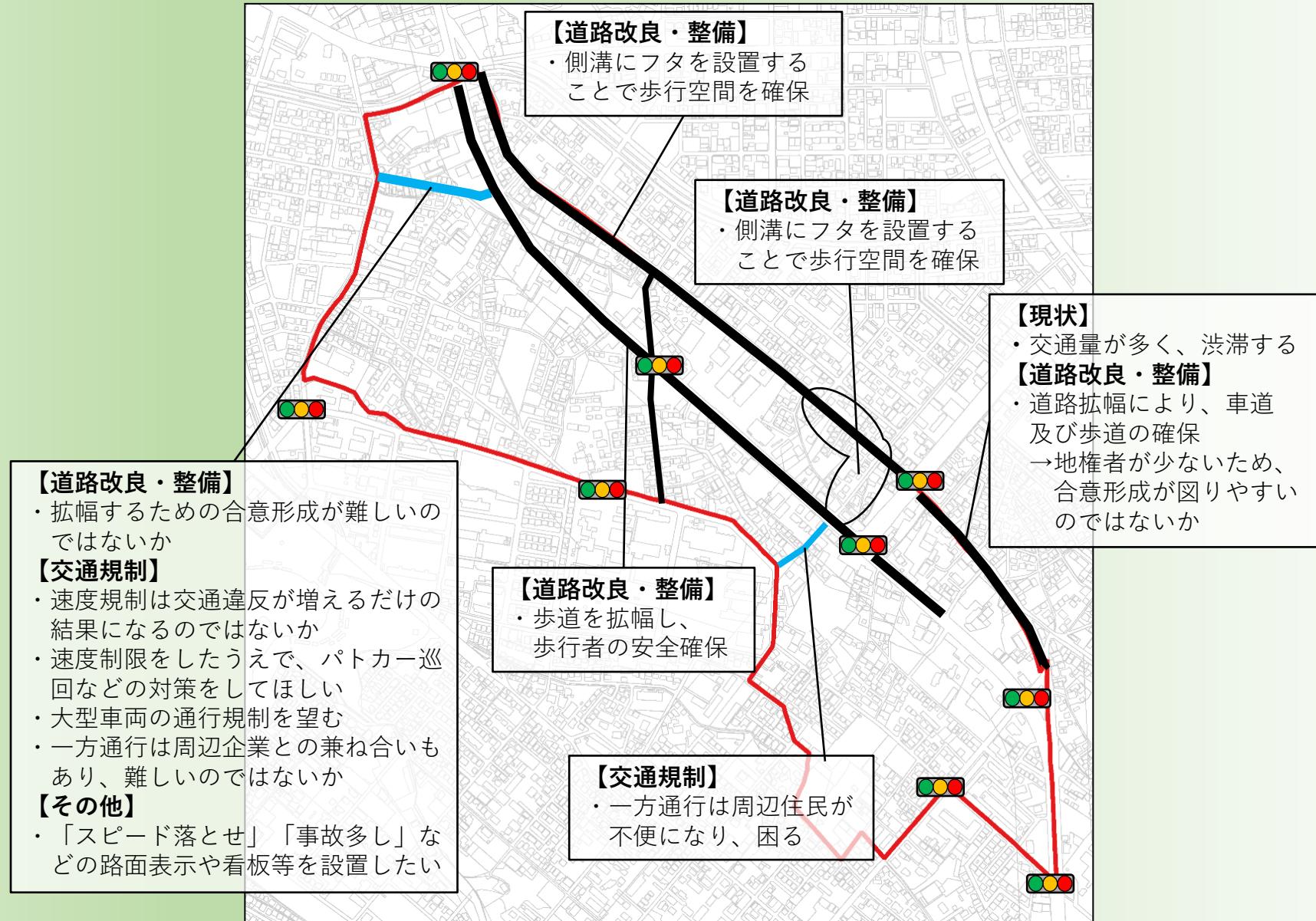


第3回まちづくり勉強会でのワークショップ

3つの班に分かれ、まちづくりの課題を解消する取組や手法について意見を出し合いました。



第3回まちづくり勉強会で出された意見



本日の勉強会の目的と内容

前回行ったこと

◆まちづくり課題を解消する取組や
手法についての意見交換

【今回行うこと】

都市基盤施設から見た地区の現状や勉強会の意見をもとに、課題解消に向けた手法や路線、エリアをまちづくりプラン検討案としてまとめました。検討案を活用しながら、地域のまちづくりについて意見交換します！

「次回行うこと

◆今までの勉強会で出された意見を踏まえて整理した内容を確認し、まちづくりプラン(案)としてとりまとめます。

勉強会の進め方

(計70分)

① まちづくりプラン検討案の説明 (10分程度)

事務局で整理したまちづくりプラン検討案を説明します。



② ワークショップ (50分程度)

まちづくりプラン検討案を基に

地域のまちづくりについて意見交換します。



③ 意見内容の確認・共有 (10分程度)

各班で意見交換した内容を参加者全員で共有します。

① まちづくりプラン検討案の説明

まちづくりプラン検討案とは

まちづくりプラン検討案とは、地区の都市基盤施設に関する現状や、勉強会での意見を踏まえた内容を整理したものです。

これをもとに、今回は地域のまちづくりについて意見交換します。その内容を、次回の勉強会でまちづくりプラン（案）として、とりまとめます。

まちづくりプラン検討案の作成の考え方

都市基盤施設に関する地区の現状

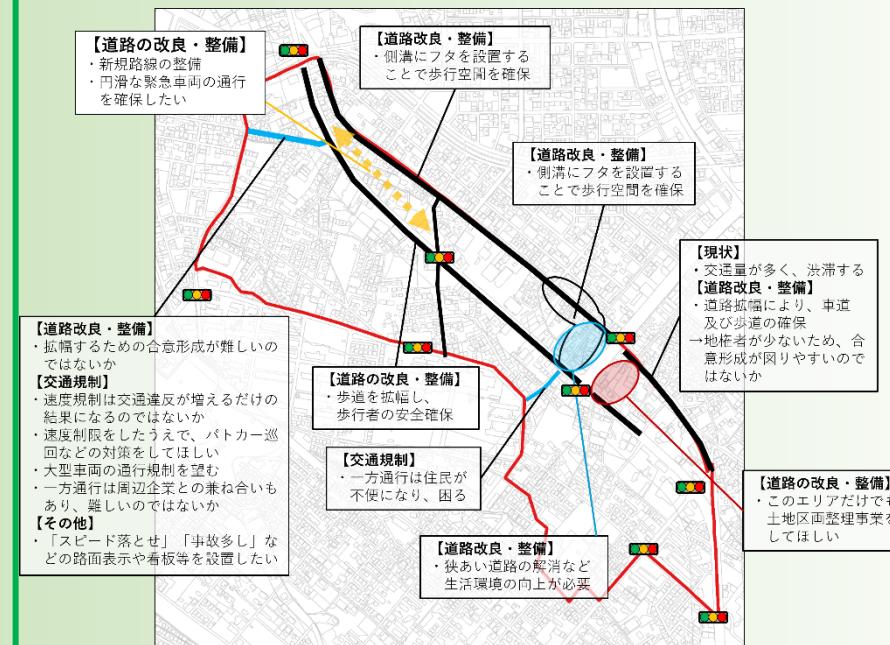
(道路・公園の現状)

- ・道路の量：道路率
- ・道路の質：4m未満道路延長率
- ・公園利用：公園数
公園誘致圏

(防災性の現状)

- ・火災対応：消防活動困難区域
- ・地震対応：道路閉塞確率

これまでの勉強会での意見

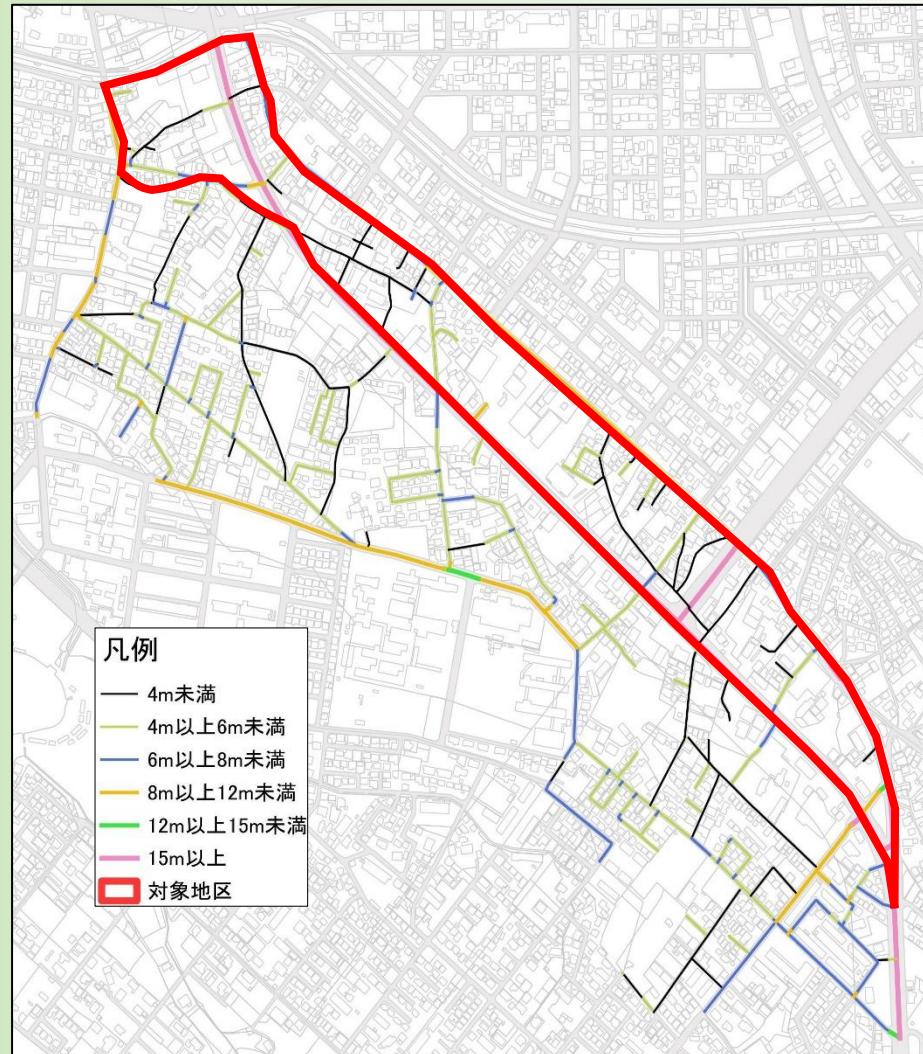
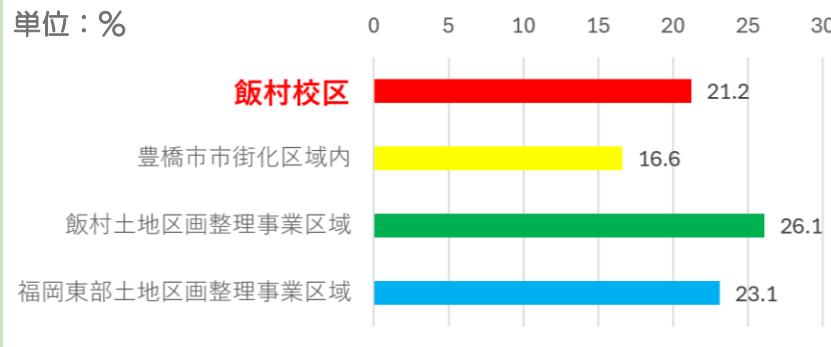


まちづくりプラン検討案

都市基盤施設に関する地区の現状（道路）

道路の量：道路率

- 市内市街化区域と比べて上回っているが、大部分を国道一号と旧東海道が占めている。



道路の質：4m未満道路延長率

- 市内市街化区域内と比べて上回っており、脆弱な現状です。



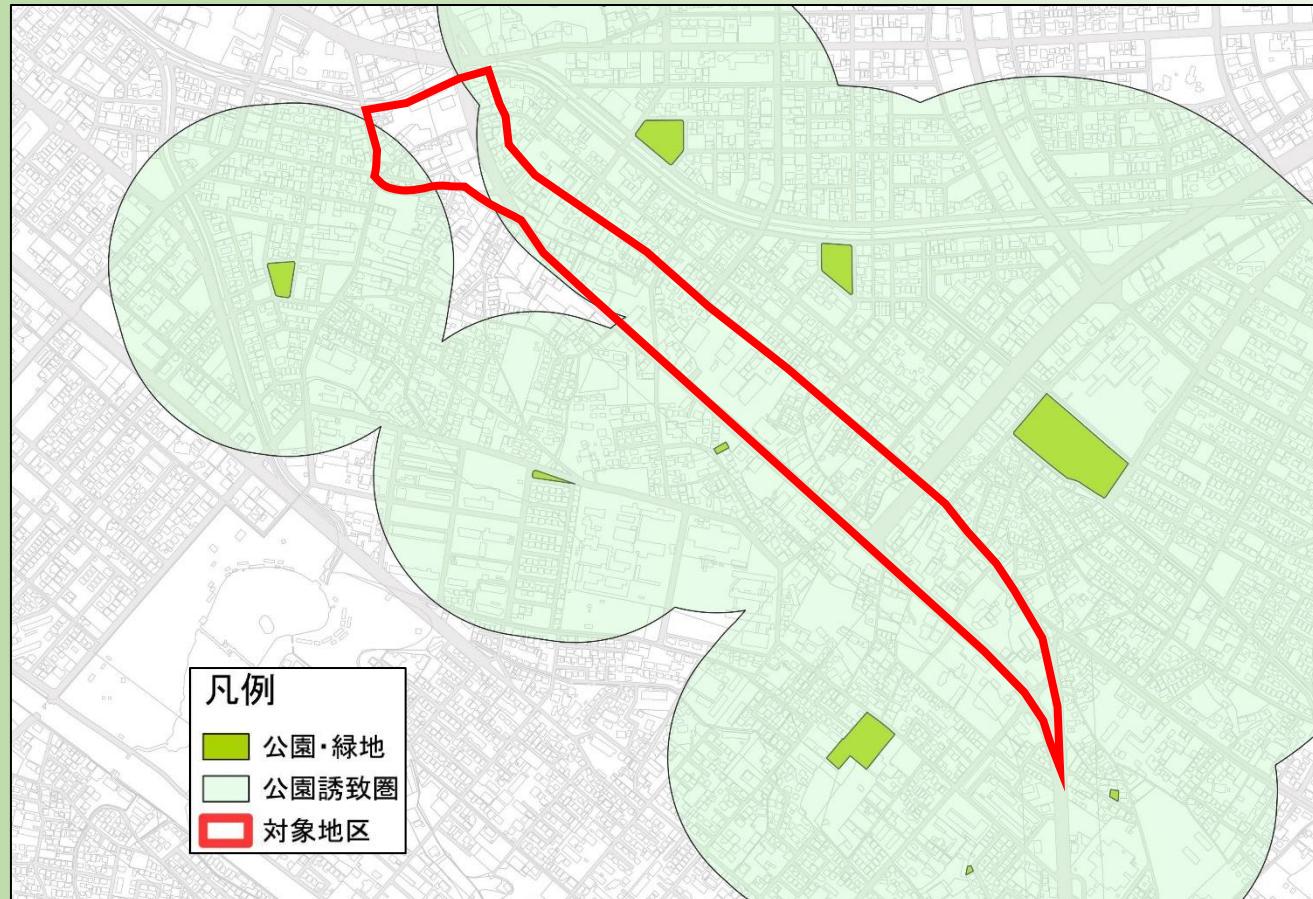
（参考）

- 道路率：道路面積/地区面積
- 4m未満道路延長率：幅員4m未満道路延長/地区内道路総延長

都市基盤施設に関する地区の現状 (公園)

(公園利用：公園数 及び 公園誘致圏)

- ・飯村校区内に公園は**無い**。
- ・一時避難場所として指定されている公園は**無い**。
- ・飯村校区内には、北西部に**公園誘致圏外のエリア**が存在する。



(参考) 公園誘致圏：近隣公園から500m圏内、街区公園から250m圏内

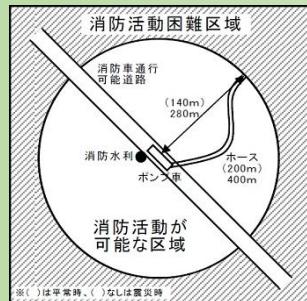
都市基盤施設に関する地区の現状（防災性）

火災対応：消防活動困難区域

- ・飯村校区内には、消防活動困難区域は無い。

（参考：消防活動困難区域）

- ・ネットワークされた幅員6mの道路から140mを超えた区域をいい、火災への対応のしやすさを見る指標とされています。

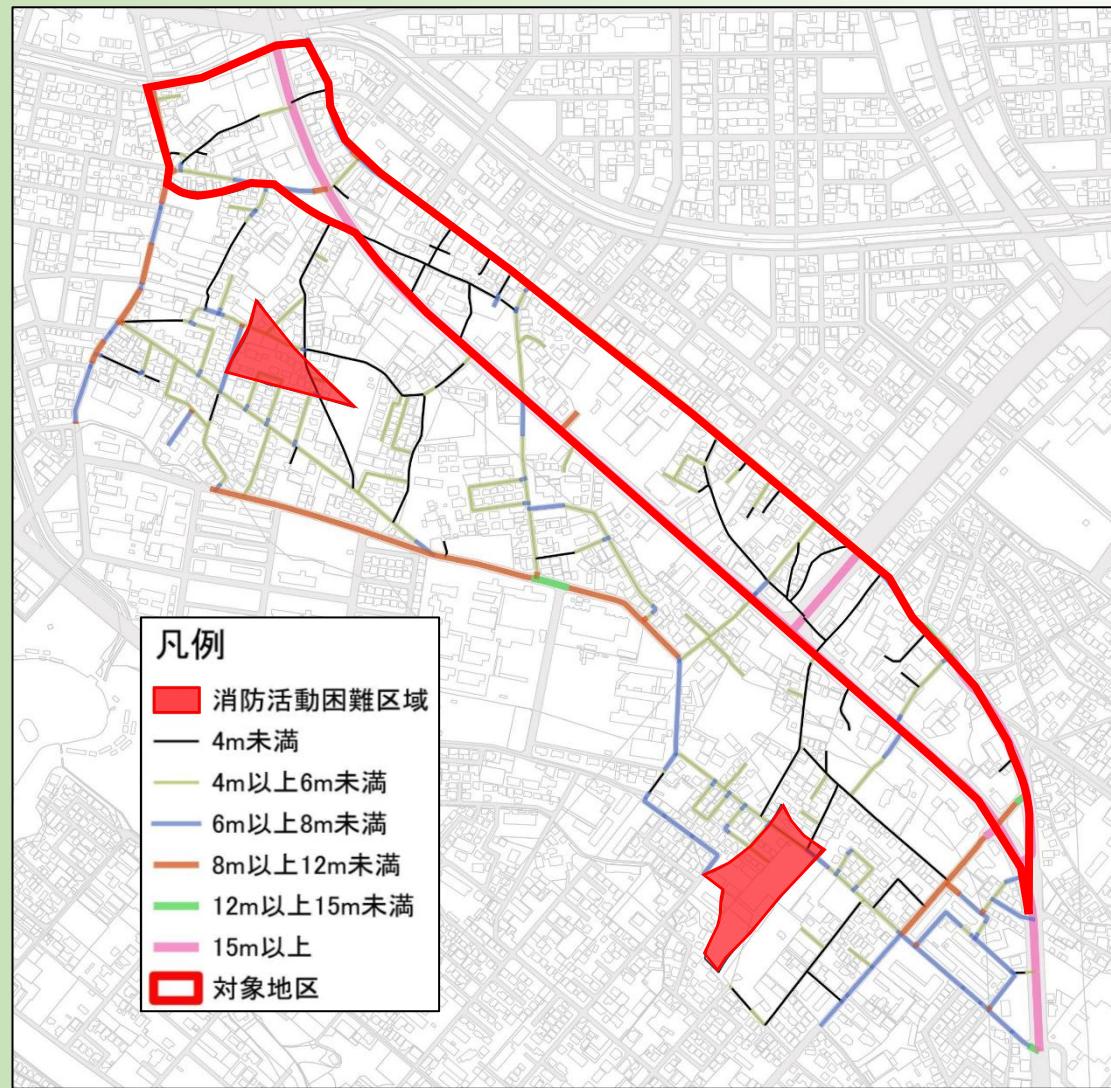


地震対応：道路閉塞確率

- ・震災時には、飯村校区内の道路の半分近くの41.4%が塞がれてしまう可能性がある。

（参考：道路閉塞確率）

- ・地震の際に沿道の建物の倒壊によりどのくらいの道路が塞がれるかを示す指標です。



出典

消防活動困難区域：国土技術政策総合研究所「密集市街地のための集団既定のガイドブック」
道路閉塞確率：都市防災実務ハンドブック編集委員会「都市防災実務ハンドブック」
道路閉塞状況写真：国土交通省HP

都市基盤施設に関する地区の現状からみた課題

【道路・公園の現状】

(道路率)

- ・市内市街化区域と比べて上回っているが、大部分を国道一号と旧東海道が占めている。

(4m未満道路延長率)

- ・幅員4m未満道路が市内市街化区域内と比べて上回っており、脆弱。

(公園数 及び 公園誘致圏)

- ・公園は無い。
- ・一時避難場所に指定されている公園は無い。
- ・北西部に公園誘致圏外のエリアが存在する。

【防災性の現状】

(消防活動困難区域)

- ・消防活動困難区域は無い。

(道路閉塞確率)

- ・震災時に半分近くの道路が塞がれてしまう可能性がある。

【都市基盤施設に関する地区の現状からみた課題】

- 幅員4m未満道路の解消
- 公園の確保
- 避難路・避難場所の確保

これまでの勉強会での意見

- 交通量や抜け道利用の多い道路において、歩行空間の確保や渋滞解消、路面表示等での速度抑制に関する意見
- 住宅地内の狭あい道路の解消や小規模な区画整理などに関する意見



まちづくりプラン検討案作成の考え方

【都市基盤施設に関する 地区の現状からみた課題】

- 幅員4m未満道路の解消
- 公園の確保
- 避難路・避難場所の確保

【これまでの勉強会での意見】

- 交通量や抜け道利用の多い道路において、歩行空間の確保や渋滞解消、路面表示等での速度抑制に関する意見
- 住宅地内の狭い道路の解消や小規模な区画整理などに関する意見

交通環境の改善と防災性・生活環境の向上

まちづくりプラン検討案

交通環境の改善と防災性・生活環境の向上

公園整備

- ・身近な公園の確保
- ・避難場所の確保

車両スピードの抑制

- ・歩行者の安全確保

道路改良・整備

- ・歩道部分を整備し、歩行者の安全確保

【地区全体】

- ・幅員 4 m未満道路の解消

道路改良・整備

- ・新規道路の整備
- ・円滑な緊急車両の通行確保

道路拡幅(W=10m)

- ・車道部分を拡幅し、すれ違いやすくする
- ・歩行者の安全性確保

交差点改良

- ・車両通行の安全性確保

小規模な区画整理 狭い道路の解消

② ワークショップ

まちづくりプラン検討案に関する意見の整理方法

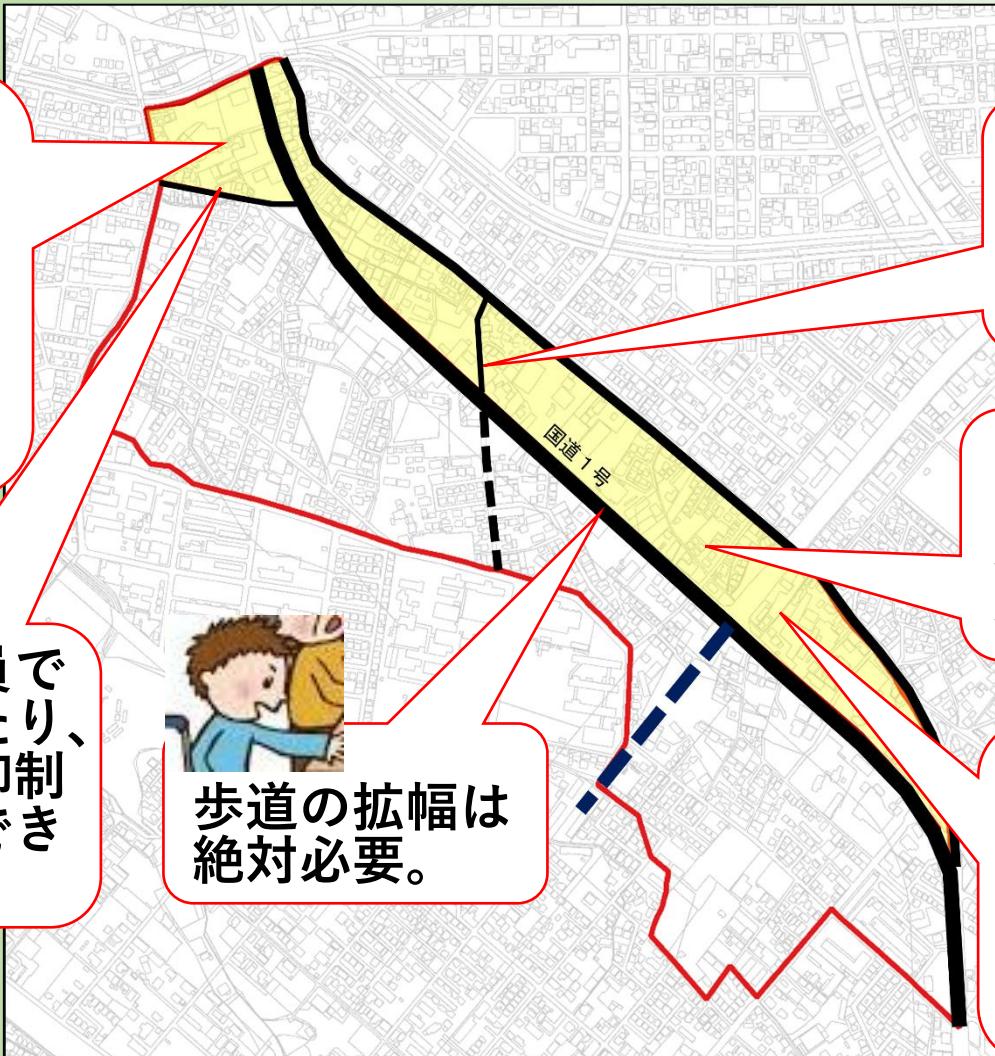
まちづくりプラン検討案について意見交換し整理します。



子どもと楽しく遊べる公園が欲しいな。いざというときに、避難場所としても役立つよしね。



現状の幅員で歩道を造ったり、スピードを抑制する対応ができないかな？



拡幅はいいけど一部の人に負担がかかるのはいかがかな。



みんなが賛同するのであれば小規模な区画整理もいいかも。



歩道の拡幅は絶対必要。



みんなでセットバックなどのルールを決めてまちづくりを進めたらいいのでは。

まちづくりプラン検討案に関する意見の整理方法

意見をふせんに記入しシートに貼ります。

まちづくりプラン検討案に関する意見

班

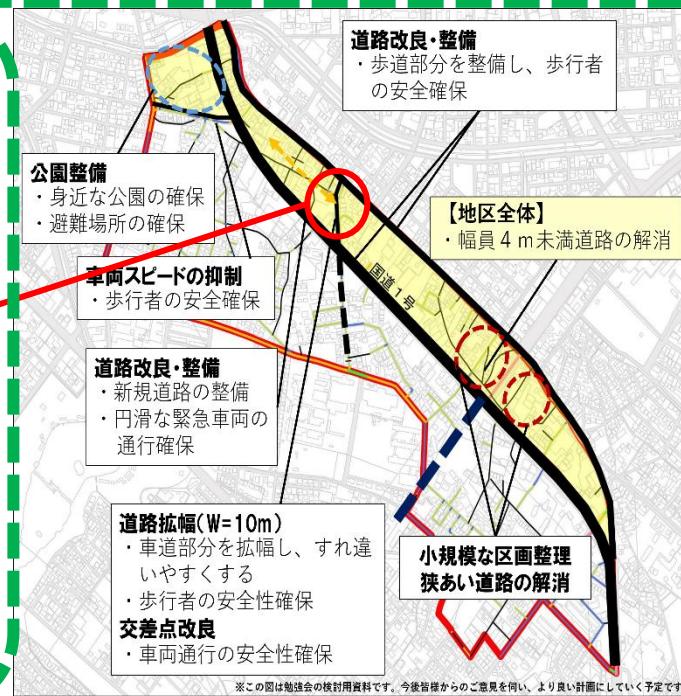
班番号
を記入

整理した意見をふせんに記入し添付

拡幅は
通過交
通が増
える

一方通
行化

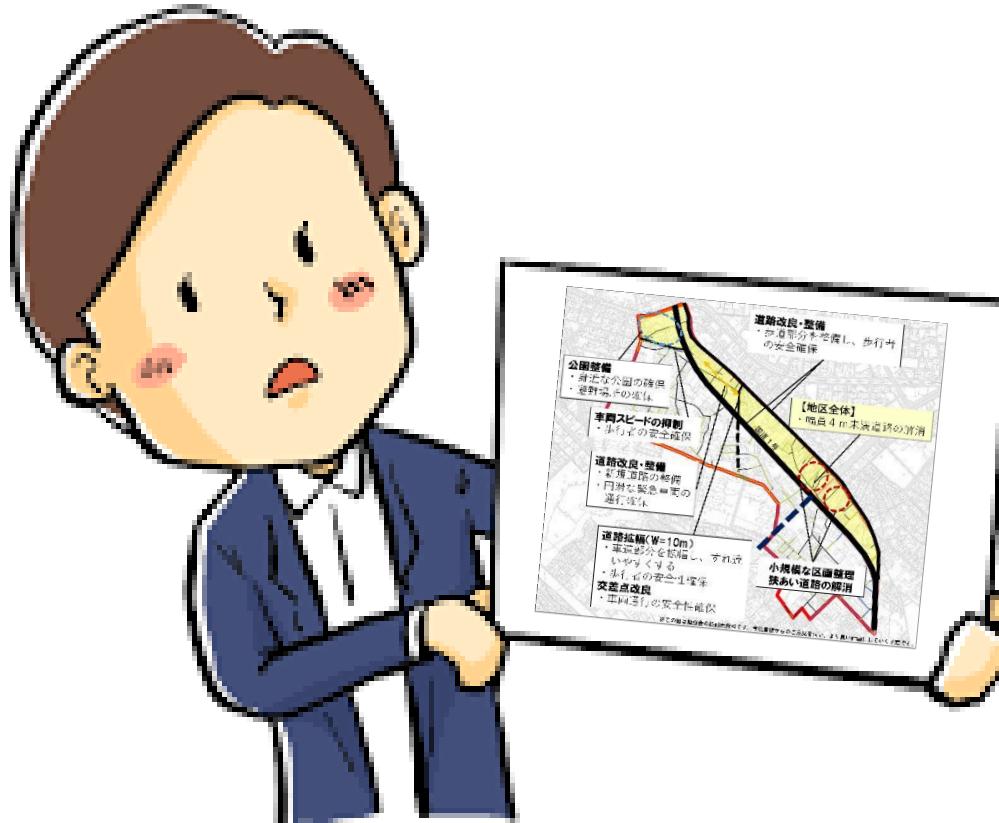
整理した意見
をふせんに記
入し添付



整理した意見を
ふせんに記入し
添付

内容の共有の進め方（各班3分程度）

各班で整理した意見を紹介し合い、
参加者全員で共有します。



次回の開催について

次回の開催について

第4回まちづくり勉強会(本日)

- ・まちづくりプラン検討案について意見交換



第5回まちづくり勉強会（次回）

(日時)

令和8年2月下旬、19時～20時30分を予定
(日程が決まりましたらご案内します)

(場所)

豊橋市飯村校区市民館 集会室（予定）

(開催内容)

- ・まちづくりプラン（案）のとりまとめ